

☆第34回 愛媛新聞小学生読書感想文コンクール 県教育研究協議会長賞



新谷小学校 3年

佐川 さとる 惺 さん

佐川さんは、愛媛新聞社主催の小学生読書感想文コンクールで応募総数17,796作品の中から特別賞にあたる県教育研究協議会長賞を受賞しました。

題材に選んだ「先生、しゅくだいわすれました」は宿題を忘れてしまった主人公が「宇宙人に九九を教えていたから」などの奇想天外な言い訳で、クラスを笑顔にするという物語で、書店に行った際にお母さんに勧められ、面白そうだと手に取ったそうです。

探偵が謎を解きながら難事件に立ち向かう「あしたからは名探偵」などのミステリーが大好きで、毎日学校の図書室に通っている読書家の佐川さん。上手に読書感想文を書くコツを尋ねると、「面白い本は、面白い感想文が書ける」と、たくさんの本に触れることで面白い本を見分けられるようになったそうです。

最後にお勧めの本と将来の夢を聞くと、ソフトクリーム屋のおじいさんとたぬきの親子の心温まるお話「このはのおかね、つかえます」がお勧めで、将来の夢は「絵を描くことも好きだから漫画家にも興味がある」と、笑顔で答えてくれました。

HighSchool NOW

Vol.71 大洲農業高等学校

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

大洲農業高等学校生産科学科の祖母井優介^{ゆうすけ}です。私が所属している野菜班では、トマトやキュウリといった夏野菜をはじめ、ハクサイやダイコンなど1年を通して多くの野菜を栽培しています。

特に今私たちは、数ある野菜のなかでも“イチゴ”の栽培に力をいれています。イチゴは、11月頃から需要が高まり、2月頃には大洲喜多地区の多くの観光農園でいちご狩りが行われています。本校でもみなさんに楽しんでもらえるような区画を作りたいと考え、昨年度からイチゴ栽培に挑戦しています。

現在は、今まで使用されていなかった環境制御温室をイチゴ栽培に適した環境になるように調整し、試験栽培を行っています。イチゴ栽培を通して、農業は種播きや栽培管理をするだけでなく、ハウス作りや高設ベンチの作成など多くの施工技術が必要になってくるということを、実感することができました。

来年度からは、本格的にイチゴの栽培管理ができるよう、今年度はその準備にこれからも励んでいきます。



— 一次回は長浜高等学校からです。 —

ちこ 稚児行列が華やかに

11月23日(水)、白滝地区の伝統行事である「るり姫まつり」が開催されました。祭りには地元の小学生たちに加えボランティアとして高校生が参加し、きらびやかな衣装を身にまとった稚児たちは、まずJR伊予白滝駅で観光列車「伊予灘ものがたり」をお出迎え。西龍寺で法要を行った後、白滝公園内のるり姫親子観音像まで歩き、担いで登った花神輿みこしを雌滝の滝つぼに投げ込みました。また、公園入り口では地元有志による出店が開かれ、祭りを盛り上げました。



写真：伊予灘ものがたりを見送る稚児たち

健脚を競う

11月27日(日)、第14回大洲市駅伝大会を開催しました。新型コロナウイルスの影響により3年振りの開催となった今回は、道路工事などの影響により大洲～長浜間から若宮堤防上の折り返しにコースを変更。中学生の部を含む男子24チーム、女子7チームが参加し健脚を競いました。

【各部門優勝チーム】 一般2部：平野公民館、一般女子の部：ひまわりレディース、中学生男子の部：大洲北中学校A、中学生女子の部：大洲南中学校A



保護猫の譲渡会を開催

「おおずねこの会」が主催する猫の譲渡会が11月27日(日)、大洲市総合福祉センターで開催されました。この譲渡会は、保護した猫の命をつなぐため、猫の飼育が可能な住居があることや、室内飼いや不妊・去勢手術をするなどルールを守って最後まで責任をもって飼育することができる人に譲渡を行っているものです。「おおずねこの会」では今後についても譲渡会を開催する予定です。



デザインポストを寄贈

12月8日(木)、長浜高等学校の生徒がデザインした郵便ポストの寄贈式が行われました。デザインは同校1年の4人が総合的な探求の時間に地域活性化の一つになればと取り組んだもので、高知県の足摺海洋館あしずりにオリジナルデザインのポストが設置されていたのをヒントにしたそうです。

海をデザインした青いポストは長浜支所とJR伊予長浜駅前の2カ所に設置され生徒たちは「長浜を走るドライバーに地域をアピールできれば」と話していました。





素晴らしい音色に耳を傾けて

素晴らしい音楽を通して、大洲市民の文化・芸術の向上と青少年の豊かな感性や想像力を育もうと、「おおず親と子のコンサート2022」を12月10日(土)、大洲市民会館で開催し、市内だけではなく市外からも多くのみなさんが来場しました。前日には初の試みとなる市内高校の吹奏楽部と演奏者との交流会が開かれ、演奏者は生徒からのさまざまな質問に丁寧に答えていました。



地域活性化に向け高校生が農業体験

高校と地域が協働し、担い手不足などの問題解消や学校の魅力向上につなげようと長浜高校の生徒による農業体験モデル事業を12月11日(日)に実施しました。この日、長浜町櫛生の宝生芳正たからぎ よしまささん所有のみかん園地に集まった生徒18人は、宝生さんから栽培や収穫についての講習を受けた後、石地みかんの収穫作業を行いました。参加した生徒からは「地域に支えて貰っている学校なので、こういった事業に積極的に参加したい」との声が聞こえてきました。



大洲城すす払い

新年に向けた大洲城のすす払いが12月13日(火)に行われました。この日参加したのは大洲史談会のみなさんなど約20人。みなさん竹笹のほうきを手に持つと櫓の軒下のすすを丁寧に取り払っていました。また敷地内の除草や、株式会社四電工の協力により、天守など高所部分の掃除もおこなわれ、大洲城支配人の竹中祥恵よしえさんは「2022年の来場者数は新型コロナウイルス流行前の約8割まで回復した。来年はもっと多くの人に大洲城を楽しんで欲しい」と話していました。



ラディッキオ料理がお披露目

12月15日(木)、市内の若手農家が令和4年度から栽培に取り組んでいる西洋野菜「ラディッキオ」を使った料理の試食会が市内飲食店で開催されました。シェフの奥田広司こうじさんは「ラディッキオは可能性のある野菜。頑張っている若手農家を応援したい」とメニューを考案。この日用意されたのはサラダ、ピザ、サラダ風スパゲッティ、ペペロンチーノの4種類で、どれもラディッキオをふんだんに使用したレシピとなっています。

【ホウレン草とベーコンの和風パスタ】



材料（2人分）

| | |
|---------|-------|
| スパゲティ | 160 g |
| ホウレン草 | 100 g |
| ベーコン | 60 g |
| シメジ | 40 g |
| おろしにんにく | 1 g |
| 油 | 大さじ1 |
| しょうゆ | 大さじ1 |
| 酒 | 大さじ1 |
| 塩コショウ | 適量 |

作り方

- ① ホウレン草は塩茹^ゆでし、水気を絞る。
- ② ベーコンは1 cm幅に切り、シメジは手でほぐす。
- ③ フライパンに油とおろしにんにくを入れて弱火で熱し、香りが立ったら②を入れて中火で炒める。
- ④ シメジがしんなりしたら、ホウレン草としょうゆ、酒を入れてさっと炒める。
- ⑤ 茹でたスパゲティを加えてさらに炒め、塩コショウで味を調える。

ホウレン草の栄養

ホウレン草は冬から春先にかけて旬となり、栄養価と甘みがアップします。緑黄色野菜の中でも鉄の含有量はトップクラスで、貧血予防に効果的な葉酸に加え、鉄の吸収率を高めるビタミンCを豊富に含んでいます。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和くにかず

DXのすゝめ



こんにちは、昨年7月に大洲市の最高デジタル責任者補佐官（CDO）に就任しました鈴木です。今回から1年にわたって、大洲市のデジタル化の取組について、市民のみなさんにわかりやすくお伝えしていきたいと考えています。

今回は第1回ということもあり、簡単に私の自己紹介をさせてください。私は2021年まで東京都議会の議員として、東京都のデジタル化を推進してきました。いまは東京のIT企業で働きながら、大洲市職員のみなさんと日々オンラインで打ち合わせをし、デジタル化に関する相談・助言をさせていただいています。

毎月1回は大洲市にも来ているのですが、私も妻も「いもたき」が大好きで、よくお土産として購入しています。また、私の祖母が愛媛県出身ということもあり、大洲市のために仕事できることが嬉しいです。大洲市のみなさんはとっても温かく、こちらに来るたびにこの町が好きになっています。

次回からは、大洲市のデジタル化の取組について、そもそもなぜデジタル化が必要なのかというところからお伝えしていきます。

文化財



大洲市指定有形文化財（工芸品）
槍 銘大洲藩臣岡本治郎九郎源隆国造 1本
文化三丙寅年二月吉日
大洲市所有

この槍は、大洲藩祖加藤光泰みつやすが愛用した片鎌槍かたかまやり（十文字槍の片側の枝を短くした形の槍）を、大洲藩11代藩主泰済やすずみがお抱え刀工の岡本隆国に命じて造らせた模造品になります。

この模造品の槍は2本制作されましたが、1本は第二次世界大戦の東京空襲の際、原品とともに焼失してしまいました。一方、この槍は大洲の加藤家邸（現お殿様公園）に保存されていたため焼失を免れ、昭和34年（1959）に旧大洲藩主加藤家の末裔加藤泰通やすみちから、隆国の子孫である岡本家に譲渡されたものです。

片鎌槍は、藩祖光泰が朝鮮出兵時に用いて武功をあげたと伝えられており、その模造品であるこの槍も藩主加藤家や刀工岡本家だけでなく、歴史的にも貴重な作品と言えます。

（昭和41年11月3日指定）